

JA 徳島厚生連 阿南医療センター 開設3周年を迎えました

阿南医療センターは、5月1日に開設3周年を迎えました。この間、県南部圏域における中核病院として、地域医療の推進に中心的な役割を果たし、健康管理や疾病予防においても、他の医療機関や行政との連携を図りながら取り組まれています。4月に新たに同センター院長に就任された前田 徹院長のご挨拶と医師数や診療実績等の推移をご紹介します。

ご挨拶

阿南医療センター 前田 徹 院長

この度令和4年4月1日より当院院長を拝命いたしました。私は昭和59年徳島大学卒業で徳島大学整形外科およびその関連病院に勤務し、平成16年から15年間は愛知県名古屋徳洲会総合病院で勤務していました。その間平成21年から10年間同院の院長を務めていました。脊椎外科医で、院長の間も脊椎外科の仕事も継続していました。今後阿南医療センターでも脊椎外科の仕事を行いながら院長としての責務を全うする所存です。



当院は開設3周年となり、下記に示すごとく救急搬送数、手術件数など徐々に増加しています。またコロナ関連の患者様に対しても病院をあげて対応しています。今後さらなる病院の発展、進化を図り、地域医療支援病院として急性期医療を中心として、阿南市、県南の医療に貢献できるよう努力したいと考えています。

患者様第一をモットーとし職員一丸となり信頼される病院をめざします。どうぞよろしくお願いいたします。

